

館報

庄内



庄内地区	
平成30年7月1日現在人口	
世帯数	6,901戸
男	7,414人
女	7,400人
合計	14,814人
発行 庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

地域を思う気持ち、新たな住民パワーを生み、その活動はその地域の宝物になる「イベント」

思いを共有する住民の参加

庄内地区では、さまざまな町会で、多くの地域を思う住民が、いろいろなパワーを発揮し、それぞれのできる範囲で活躍の場を生み育てています。その活動は、地域のため住民のためであると同時に、自分のためでもあるようです。

南新町一丁目の「いきいきサロンみつば会」も、そんな住民パワーが生んだ素晴らしい活動です。

南新町一丁目では、平成元年に町会の行事の裏方を務めていた婦人会が解散となり、長く続いてきた活動に幕を下ろすことになりました。

そんな時「このままでは町内公民館の集まりも衰退してしまい、住民が顔を合わせる機会が無くなってしまおう」と寂しさを感じた住民の一言で、いきいきサロンの発想が生まれました。



同じ危機感を抱く住民もおり、一回の定期開催、お酒なしで、町会を一つの家族のような絆になど、思い思いの気持ちを寄せ合う準備会を経て町内公民館を会場に、活動はスタートしました。

参加者の笑顔が励み

顔見知りの集まる場所で、安心感は、参加者に笑顔をお届けします。もてなし演出は手作りのお菓子やアコーディオン、ハーモニカ、オカリナなどの演奏会、健康体操などのレクリエーションなどを毎回企画します。



参加者と一緒に楽しむ

運営する側も同じ町会住民です。ですから一緒に同じ時間を、同じ思いで楽しみます。月に一度でも外出する場所。今、このサロンは、高齢者の居場所になっています。年を重ねると、外出する機会が少なくなります。できるだけ、そうならないようにしていきたいものです。

自分のできる範囲で活動

自分と同じ思いを持つ仲間と一緒に地域の中で行動をとることは、きつと新しい世界がそこには広がっているのかもしれない。

町会長から一言

献身的に活動をなさえていただいている方々に、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。

私のネグレストステージ

今になって思うと、公民館との係わりは、私にとつて定年後の生活を左右する大きな存在となったと感じています。現役当時の私は、地域との係わりを「面倒くさいもの」と思い込んでおりましたので、当然のごとく近所付き合いも希薄なものでした。

そんな私が、知り合いであった地区公民館主事が、中央公民館長として異動した際に、「文科省が全国の地方自治体の公民館へ投げかけた企画に、松本市も参加するので、話を聴いてみないか」と、紹介され、気軽なつもりで出かけて行ったのが、私に大きな変化をもたらしました。

その企画内容とは、「地域の課題を、地域で暮らす住民がさまざまな視点・観点で積極的に、自分のこととして考え、解決に向かって取り組む」というものでした。

松本市はその企画を数項目の公民館の市民講座として組み立て、参加市民を募集しておりました。その講座内容を見させてもらい、「自分の考えで何かを動かせる」ということに、とても魅力を感じたこ

とを、鮮明に覚えております。偶然にも、数年前に定年を迎えるというタイミングも重なり、私自身も高齢の両親を抱えていることもあり、その講座の中から「高齢者支援」という講座を選び参加しました。講座の始まりは、まず高齢者のかかえる様々な問題点を地域住民の視点で考えることから始まりました。次に実際に活動している市民活動者からの実践例を学びました。受講するうちに「聴くだけでなく、実践してみたい」という意識が自然と芽生えてきました。その意識が定年後の自分の生き方を考えるというターニングポイントになったのではないかと思います。

現在の私は微力ですが、高齢者の居場所づくりや同行外出支援等の活動をしています。現役を退けば、誰でもが住民として心地よく暮らしていきたいものです。そんな中で、自分の役割や生きがいを見いだせるチャンスは、沢山あるのではないのでしょうか。

セカンドライフではなく、次の自分を輝かせるネグレスト・ステージとして。(えむ)

